

目次

所属名称	施策名	事業番号	大事業名称	事業名	評価区分	ページ番号
総合政策室	体系外事業	23	総務一般管理費	特別職管理費	簡易	1
総合政策室	効率的な行財政運営の推進	259	総合計画推進費	総合計画推進費	簡易	2
総合政策室	体系外事業	359	特別定額給付金給付事業費	物価高騰対策臨時給付金事業費	簡易	3
総合政策室	効率的な行財政運営の推進	399	鏡野町総合戦略推進費	鏡野町総合戦略推進費	総合	4 - 5
総合政策室	地域医療の充実	2260	診療施設整備事業費	国民健康保険病院建設計画策定事業	総合	6 - 7

事業番号	事務事業名	特別職管理費	所管課名	総合政策室	令和 4 年度課長名	瀬島 栄史
00023	政策名	6	係名	総合政策係	担当者・シート作成者	榎本 美貴
	施策名	61	根拠法令等	鏡野町交際費の支出及び公表に関する要綱		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	○各所属の業務・事業に関係しないか若しくは区分できない業務での町長の出張旅費の支出 → 毎日町長予定を調整し、出張旅費のあるものについては支出する。 ○町長交際費の支出 → 毎月の支出内容を審議し基準どおりに支出する。支出後は支出内容を公表する(閲覧・ホームページ)	合併時より

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 町長・副町長	ア 特別職(教育長除く)の人数	人	見込 実績	2 2	2 2	2 2	2	2
イ	イ		見込 実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 円滑、適正に業務を遂行してもらおう	ア 出張回数(延べ日数)	回	目標 実績 達成率	200 87 43.5%	200 87 43.5%	100 140 140.0%	200	200
イ	イ 交際費の支出件数	件	目標 実績 達成率	70 18 25.7%	70 18 25.7%	35 34 97.1%	35	35
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 出張旅費の支出	ア 旅費の支出対象件数	件	目標 実績 達成率	20 6 30.0%	20 13 65.0%	20 15 75.0%	20	20
イ 交際費の審査	イ 総合調整会議での審査回数	回	目標 実績 達成率	12 12 100.0%	12 12 100.0%	12 12 100.0%	12	12

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア	ア
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 02		項 01		目 01		01 04		01 04				事業番号 00023
	一般会計		総務費		総務管理費		一般管理費		特別職管理費		特別職管理費				
予算(千円)	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比	決算 (千円)	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比		
国庫支出金							国庫支出金								
県支出金							県支出金								
町債							町債								
その他特財							その他特財								
一般財源	1,600	1,600	1,370	1,250	1,250	-230	一般財源	389	246	850	1,250	1,250	604		
合計	1,600	1,600	1,370	1,250	1,250	-230	合計(A)	389	246	850	1,250	1,250	604		
財源名称	従事正職員人数							1	1	1	1	1			
	延べ業務事務時間							100	100	100	100	100			
	人件費計(千円)(B)							334	335	342	336	336	7		
	最終予算額		1,370 千円		予算執行率		62.0%	トータルコスト(A+B)		723	581	1,192	1,586	1,586	611

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	旅費について、宿泊及び移動の予約方法見直しで経費削減できる可能性がある。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がある	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	総合計画推進費	所管課名	総合政策室	令和 4 年度課長名	瀬島 栄史
00259	政策名	5 みんなでつくる里づくり	係名	総合政策係	担当者・シート作成者	和田 直
	施策名	53 効率的な行財政運営の推進	根拠法令等	まち・ひと・しごと創生法、鏡野町行政評価外部評価委員会設		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	総合計画の成果指標の達成状況を管理し、最重点施策及び重点施策について外部評価委員会を開催する。 また、第2次総合計画の後期基本計画を「かがみの創生総合戦略」を包含した形で策定したため、総合戦略(地方創生)事業を推進する上で必要となる事業評価と外部評価委員会を開催する。 この委員会における委員報酬、旅費等の経費	総合計画と総合戦略の一体的な策定を令和2年度に行ったため、本事業自体は令和3年度からとなる。 従来は総合戦略推進費として事業を行っていた。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 総合計画	ア 総合計画	計画	見込	1	1	1	1	1
イ	イ		実績	1	1	1		
			見込					
			実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 成果の評価が適切に行われる	ア 評価された施策(総合計画)	施策	目標			30	30	30
イ	イ 評価された施策(総合戦略)	施策	実績			30		
			達成率			100.0%		100.0%
			目標			4	4	4
			実績			4		
			達成率			100.0%		100.0%
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 鏡野町行政評価外部評価委員会を開催する	ア 外部評価委員会開催回数	回	目標		2	2	2	2
イ 施策評価会議を行う	イ 施策評価会議開催回数	回	実績		2	2		
			達成率		100.0%	100.0%		100.0%
			目標			1	1	1
			実績			1		
			達成率			100.0%		100.0%



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 鏡野町の行財政	ア 自主的・自律的な行財政運営の確立
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 02		項 01		目 06		予算上の事業名						事業番号
	一般会計		総務費		総務管理費		企画費		総合計画推進費						
2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比	決算	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比	00259		
(千円)	実績	実績	実績	見込	見込	(千円)	実績	実績	実績	見込	見込	見込			
国庫支出金						国庫支出金									
県支出金						県支出金									
町債						町債									
その他特財						その他特財									
一般財源		258	95	387	387	-163	一般財源		43	79	387	387	36		
合計		258	95	387	387	-163	合計(A)		43	79	387	387	36		
財源名称	従事正職員人数								4	4	3	3			
	延べ業務事務時間								1,000	1,500	1,500	1,500	500		
	人件費計(千円)(B)								3,350	5,132	5,043	5,043	1,782		
	最終予算額		95 千円	予算執行率		83.1%	トータルコスト(A+B)			3,393	5,211	5,430	5,430	1,818	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	各施策の評価は主管課が中心となって行うが、担当者により評価方法にばらつきがあることが課題である。令和5年度は行政評価手順書を整備し、この課題の解消に向けて取り組むとともに、原課の評価に対する姿勢が前向きになるよう丁寧に対応していく必要がある。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がある	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	物価高騰対策臨時給付金事業費	所管課名	総合政策室	令和 4 年度課長名	瀬島 栄史
00359	政策名	6 体系外	係名	総合政策係	担当者・シート作成者	和田 直
	施策名	61 体系外事業	根拠法令等	鏡野町物価高騰対策臨時給付金事業実施要綱		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ	令和4年9月30日を基準日とし、町の住民基本台帳に記録されている者等を対象に、1人あたり1万円を給付する。 受給権者は世帯主とし、必要事項をあらかじめ記載した「確認書」を受給権者が確認し、その結果を記入し、返送することをもって申請とする。	急激な物価高騰により町民の生活を支援する必要があるため、令和4年度において補正予算対応

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 町民	ア 基準日における世帯数	世帯	見込 実績			5,633 5,633		
イ	イ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 生活の負担を軽減する	ア 生活の負担が軽減された世帯数	世帯	目標 実績 達成率			5,633 5,402 95.9%		#DIV/0!
イ	イ		目標 実績 達成率					

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 給付金を給付する	ア 給付額	千円	目標 実績 達成率			12,486 12,134 97.2%		#DIV/0!
イ	イ		目標 実績 達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア	ア
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計	01	款	02	項	01	目	06	大事業	中事業	予算上の事業名					事業番号
	一般会計		総務費		総務管理費		企画費		31	04	物価高騰対策臨時給付金事業費					00359
予算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比	決算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比			
国庫支出金			65,490			65,490	国庫支出金			50,307			50,307			
県支出金							県支出金									
町債							町債									
その他特財							その他特財									
一般財源			63,808			63,808	一般財源			74,308			74,308			
合計			129,298			129,298	合計(A)			124,615			124,615			
財源名称	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金						従事正職員人数				10		10			
							延べ業務事務時間				2,480		2,480			
							人件費計(千円)(B)				8,484		8,484			
	最終予算額		129,298 千円		予算執行率		96.3%		トータルコスト(A+B)		133,099		133,099			

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	全町民に対して通知し、申請があった方に給付したため、公平・公正な給付であった。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	鏡野町総合戦略推進費	所管課名	総合政策室	令和 4 年度課長名	瀬島 栄史
00399	政策名	5 みんなでつくる里づくり	係名	総合政策室係	担当者・シート作成者	瀬島 道子
	施策名	53 効率的な行財政運営の推進	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (4 年度~ 6 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	地方公共団体が民間資金も活用して地方版総合戦略に基づく事業を行うため、企業に寄附を募る事業である。法人が認定地域再生計画に記載されたまち・ひと・しごと創生寄附活用事業(以下「寄附活用事業」という。)に関連する寄附を行った場合に、地方税法及び租税特別措置法で定めるところにより、当該法人の道府県民税、事業税及び市町村民税並びに法人税の課税について、課税の特例が適用される。	地方創生の取組をさらに加速化させていくために事業を積極的に実施していく必要があるため。令和4年7月8日認定。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 寄附企業	ア 企業件数	件	見込 実績			5 3	5	5
イ	イ		見込 実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 寄附をしてくれる企業からの寄附額を増やす	ア 企業版ふるさと納税寄附額	円	目標 実績 達成率			2,000,000 3,250,000 162.5%	2,000,000	2,000,000
イ 企業版ふるさと納税について企業に知ってもらう	イ 企業からの相談件数	件	目標 実績 達成率			5 6 120.0%	5	5
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 寄附事業内容の周知	ア ホームページアクセス数	件	目標 実績 達成率			100 118 118.0%	150	160
イ	イ 宣伝回数(チラシ・電話・HP等)	回	目標 実績 達成率			20 20 100.0%	30	30
ウ	ウ		目標 実績 達成率					



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 鏡野町の行財政	ア 自主的・自律的な行財政運営の確立
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 02		項 01		目 06		大事業 35		中事業 01		予算上の事業名				事業番号
	一般会計		総務費		総務管理費		企画費		35		01		鏡野町総合戦略推進費				
予算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比	決算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比	前年比			
国庫支出金							国庫支出金										
県支出金							県支出金										
町債							町債										
その他特財							その他特財										
一般財源			402			402	一般財源			317	316	316	317				
合計			402			402	合計(A)			317	316	316	317				
財源名称							従事正職員人数			1	1	1	1				
							延べ業務事務時間			310	310	310	310				
							人件費計(千円)(B)			1,061	1,042	1,042	1,061				
	最終予算額	402 千円	予算執行率	78.8%	トータルコスト(A+B)					1,378	1,358	1,358	1,378				

1枚目

事業番号	00399	事務事業名	鏡野町総合戦略推進費	所管課名	総合政策室
------	-------	-------	------------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
令和2年度から認定手続きが簡素化され、包括的な取り組みとなった。
②この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
鏡野町は令和4年7月認定された。
③この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
特になし。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか?意図することが結果に結びついているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由説明 一般財源を利用せず、効率的な行政運営を円滑に行うために必要である。
	②町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか?税金を投入して行うべき事業か?住民や地域民間等に任せることはできないか?)	
有効性 評価	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由説明 町の総合戦略に合った寄附を募るため、町が行うものである。
	③対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由説明 総合戦略に合った企業を対象としている制度であるため妥当である。
効率性 評価	④成果の向上余地(成果向上の余地はないか?成果を向上させる有効な手段はないか?何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由説明 企業側の制度に関する認知度不足、行政側から企業へのPRを行うことでよりよいものとなる。
	⑤廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は?目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
公平性 評価	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由説明 総合戦略の事業に寄附金を充当できなくなる。
	⑥方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がある <input type="checkbox"/> 改善余地がない	理由説明 企業のリストアップ。
公平性 評価	⑦事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 昨年認定されたばかりであり、さらなる活動を行うべきであるため削減の余地はない。
公平性 評価	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 総合戦略に合った寄附を募るため、町職員が行うものである。委託になるとさらに費用がかかる。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか?受益者負担は公平・公正となっているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由説明 寄附金が町民へのサービス向上に結び付いているため公平・公正である。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

①上記の評価結果	②全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																						
A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	町の魅力、今後の事業展開を広く周知し、企業から寄附したいと思っていただけるよう寄附を募ることが必要である。																						
B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり																							
C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																							
D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																							
③今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	④担当課としての事業の方針																						
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	<p>今後の改革改善案</p> <p>町の総合戦略に合った案内資料の作成や企業へのPRを行うべき。</p>																						
⑤改革改善案を実施する上で解決すべき課題	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)</p>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上		○																				
	維持																						
	低下																						
企業のリストアップを行い、総合戦略事業への寄附を行ってもらえるよう工夫を行うことが重要である。また、寄附企業へのアフターフォローもきちんと行うことが大切である。																							

事業番号	事務事業名	国民健康保険病院建設計画策定事業	所管課名	総合政策室	令和 4 年度課長名	瀬島 栄史
02260	政策名	1 ころあたたかい福祉の里づくり	係名		担当者・シート作成者	榎本 美貴
	施策名	11 地域医療の充実	根拠法令等	鏡野町国民健康保険病院改革プラン		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (3 年度~ 5 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	新病院建設にかかる調査研究費。老朽化した現在の病院機能の検証・評価、新たな施設のあり方等を議論する「鏡野町立病院あり方検討委員会」を設置し、運営する。財源の確保、用地関係業務や来年度以降の用地取得や設計が円滑に行えるようにする。令和4年度には測量を行い、令和5年度に繰り越している。	南側病棟は、平成元年に新築移転以降増築を重ね、平成16年5月に北側病棟を整備して、現在では南側病棟に一般病床48床、北側病棟に療養病床は40床ある。南側病棟は築後30年以上経過し、老朽化の影響が診察にでてきている。病院建設事業では少なくとも5年以上の時間を必要とするため、先行投資していく。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 新病院基本構想・基本計画	ア 構想・計画	件	見込 実績		1 1	1 1	1	
イ 新病院建設の敷地測量	イ 敷地測量	回	見込 実績			1 1	1	
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 住民・有識者の意見を取り入れた内容にする	ア 住民・有識者から意見を得られた回数	回	目標 実績 達成率		1 1 100.0%	4 4 100.0%		
イ 土地の面積、境界線、権利等を明確にする	イ 敷地測量の進捗率	%	目標 実績 達成率			30 30 100.0%	100	
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア あり方検討委員会	ア 会議の回数	回	目標 実績 達成率		1 1 100.0%	3 3 100.0%		
イ	イ 事前打合せ	回	目標 実績 達成率	#VALUE!	2 2 100.0%	6 6 100.0%		
ウ 基準点測量・現地測量作業を委託実施する	ウ 測量成果簿の完了検査	件	目標 実績 達成率			0 0 #DIV/0!	1	



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 必要な時に適切な医療が安心して受けられる
イ	イ 早く手当、治療してもらおう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 04		項 01		目 01		大事業	中事業	予算上の事業名					事業番号
	一般会計		衛生費		保健衛生費		保健衛生総務費		26	01	国民健康保険病院建設計画策定事業					02260
予算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比	決算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比			
国庫支出金							国庫支出金									
県支出金							県支出金									
町債							町債									
その他特財							その他特財									
一般財源		477	18,089	6,954		17,612	一般財源		128	10,996	6,954		10,868			
合計		477	18,089	6,954		17,612	合計(A)		128	10,996	6,954		10,868			
財源名称							従事正職員人数		2	2	2					
							延べ業務事務時間		10	400	10		390			
							人件費計(千円)(B)		34	1,368	34		1,335			
	最終予算額		18,089 千円	予算執行率	60.7%	トータルコスト(A+B)			162	12,364	6,988		12,203			

事業番号	02260	事務事業名	国民健康保険病院建設計画策定事業	所管課名	総合政策室
------	-------	-------	------------------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	津山・英田圏域地域医療構想(医療法第30条14)では、病院の病床の整備をはかるべき地域的単位として区分する区域の設定に関する事項が、コロナ禍以降では大胆な削減案が緩和されつつある。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯	鏡野町と同じ国保病院で免震構造を採用している美波病院、勝浦病院(共に徳島県)を視察。事業費や財源、規模等について調査研究を重ねている。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?	あり方検討委員会で町民代表委員より、今後の医療機器の更新等やある程度の災害に対応可能である病院を検討してほしいとの意見が寄せられた。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由説明 幅広い年齢層の住民の方が、安心して利用できる病院の基本構想や基本計画を、医療関係者・福祉関係者・住民代表者・公募による住民委員等と議論することは、政策体系との整合性に結びついている。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)	
有効性 評価	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由説明 へき地医療拠点病院としての責任を担っているという点で、公立病院を建設計画することは妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由説明 対象は新病院建設基本構想と基本計画で、意図は委員の意見を取り入れ、より良い構想と計画を策定することなので適切である。
効率性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由説明 基本構想、基本計画ともに策定したので、目標に達している。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
公平性 評価	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由説明 あり方検討委員会を経て町長へ答申書を手交、基本構想・基本計画共に策定済みであり、病院建設を廃止・休止することは大きな影響が出る。他には類似する事業は無いため、この事務事業以外に方法はない。
	⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)	
	<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	理由説明 令和4年に基礎調査・基本構想・基本計画・総務省のヒアリングが完了。令和5年に設計、令和6年に工事段階に入る予定であり、方法・手段の改善の余地はない。
公平性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 病院設計の内容によっては、設計委託料等の削減余地はある。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 新病院の基本構想・基本計画策定において自治体病院共済会に策定支援の業務委託をしており、今後も新病院建設に関して熟知している同社に設計者選定支援業務を委託する予定であるため、削減の余地はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由説明 受益者は町民であり、幅広い年齢層の方が利用できる病院の基本構想や計画を策定することは公平・公正である。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果	② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																						
A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	新型コロナウイルス感染症の影響で、あり方検討委員会が延期になる等スケジュールに多少のズレは出たが、年度内に基本構想・基本計画の策定が完了した。今後は設計業者を委託するプロポーザルを開催、病院建設に向けて具体的な内容を決定していく。																						
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	④ 担当課としての事業の方針																						
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)</p>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○																				
	低下																						
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題																							
立地適正化計画の策定と事業認定、農地転用の手続きを滞りなく行う。その為には、各事業の県の担当者と綿密な協議を行っていく。																							